

## 令和3年7月定例教育委員会会議録

令和3年7月6日 定例熊谷市教育委員会を市役所3階302会議室に招集する。

### ○ 出席者

野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、松島 佳代子、齋藤 洪太

### ○ 出席事務局

教育次長	鯨井 敏朗
教育総務課長	長谷川 和博
社会教育課長	三友 孝二
文化センター所長	森田 安彦
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主任	吉場 美和

## 13時25分 7月定例教育委員会開会

教育長から、令和3年7月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があった。

教育長から、傍聴希望者がいないことの確認があった。

6月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長が、本日の会議録の署名人に、大石委員を指名した。

教育長から、議案第22号の「令和3年度熊谷市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（案）について」は9月市議会での報告前であるため、市議会への報告後、本日の会議録を公開することとしたい旨の発議があり、承認を得た。

また、議案第23号から第25号は人事案件となるため、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開とすることに決定した。

### **日程第1（報告第7-1号）寄附申出について**

教育総務課長から、学校等における暑さ対策のためとして、花王株式会社から、ビオレ冷タオルの寄附申出と、小学生のマナーリテラシー教育の一助とするため、熊谷商工会議所青年部から、絵本「おかねってなあに？」の寄附申出があったとの報告があった。

### **日程第1（報告第7-2号）7月教育委員会行事予定について**

教育総務課長から、7月12日開催予定だった、埼玉縣市町村教育委員会教育委員研究協議会が、開催方法が紙面開催に変更になったこと等について報告があった。

#### **(その他) 後援等承認決定した事業について**

教育総務課長から、5月16日から6月15日までに、後援等承認決定した事業が16件あったとの報告があった。

#### **(その他) 書面総会の結果について**

教育総務課長から、大里地区教育委員会連合会総会と関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会の書面決議の結果について、どちらの総会も、すべての議案について、原案のとおり可決されたことが報告された。

#### **(その他) 教育委員会開催日程について**

教育総務課長から10月定例教育委員会の日程について、10月1日(金)に変更するとの報告があった。

#### **日程第2(議案第22号)令和3年度熊谷市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書(案)について**

教育総務課長から、本報告書は、平成30年度から5か年にわたり、教育委員会各所管の各年度の取組について、点検・評価を行うもので、今回で3回目の報告書となり、令和2年度事業を対象にしたものであるとの説明があった。

点検・評価の実施方法については、個々の取組の進捗状況を可能な限り数値化し、実績値に基づき、A、B、Cの3ランクで自己評価を行っており、客観性を確保する観点から、有識者3名にそれぞれ意見をもらい、報告書に掲載をしている。

令和2年度は、前年度から1つ取組数が増え、全39の取組について点検・評価を実施し、A評価が30個、B評価が8個、C評価が0、評価なしが1個の結果となっている。前年度との比較では、前年度A評価だった取組の1つがB評価に転じ、評価なしについては、新型コロナウイルス感染症のため、当初予定していた事業に替わり、別事業を実施したことによるものであるとの説明があった。

令和2年度は、全体として新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、その中でも前年度の評価結果からあまり変更がなかったことは、コロナ禍で各所管が創意工夫等しながら、事業に取り組んだ成果であるとの説明があった。

本日配布の報告書案は、一度各委員による自宅審査とし、意見等ある場合は7月16日までに報告のうえ、その意見を踏まえた報告書修正案を、8月定例教育委員会に改めて提出し、承認について諮るとの説明があった。

(議案は8月定例教育委員会への継続審議)

